

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

内容

民謡を踊って日本のリズムを体感しよう！！

1 時限分を使わせて頂き、代表生徒を対象に行います。

- ① 手拍子など体を使って民謡のリズムを楽しみます。
- ② 本公演で踊ってもらう「八木節」を練習します。

※新型 コロナウイルス 感染症拡大防止策として、各学校ごとの要望に柔軟に対応予定。
例：・対象学年を減らす ・児童生徒と指導者におけるソーシャルディスタンス等

タイムスケジュール（標準）

開始 1 時間前に学校入り。（体育館にて準備、ご担当の先生と打合せ等）

1 時限目希望学年

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

5 名

学校における事前指導

特にありません

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 舞踊集団菊の会
公演団体名	舞踊集団菊の会

演目

『みて・きいて・おどって感じる ニッポンの心！ オモシロ民俗芸能の魅力発見！！』

①鹿躍（岩手県）

【ワークショップⅠ】装束をみてみよう！

②飾山囃子（秋田県）

③傘おどり（鳥取県）

④銭太鼓（島根県）

【ワークショップⅡ】日本の楽器の音色を きいてみよう！

⑤阿波踊り（徳島県）

【ワークショップⅢ】おどってみよう！

⑥八木節（群馬県）

※新型コロナウイルス感染防止対策の為、通常プログラムの場合でも

【ワークショップⅠ】装束をさわってみよう！

のコーナーを 「装束をみてみよう！」に変更させて頂くことがあります。

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください

18名

（出演者 15名 スタッフ 3名）

タイムスケジュール（標準）

9：00 学校到着 搬入 設営・準備

10：30～11：45 リハーサル（うち 30 分程 代表生徒リハーサル）

12：00 昼食・支度

13：30 本番 45分

14：15 本番終了 片付け

15：15 退校

実施校への協力依頼人員

公演中や休憩中の体育館内の換気をお願い致します。

演目解説

『みて・きいて・おどって感じるニッポンの心！

オモシロ民俗芸能の魅力発見！！』

【みて・きいて・おどって・かんじる】をテーマに、全曲、生演奏により舞踊家が間近でおどり、日本各地に伝わる様々な民俗芸能の持つ魅力に迫ります。

①鹿躍（岩手県）

長い腰指（ささら）を背負い、腰に付けた太鼓を激しく打ち鳴らし念仏調の踊り歌を自ら唄いながら勇壮に舞うダイナミックな芸能です。



【ワークショップⅠ】装束をみてみよう！

今舞台をつとめた鹿躍の扮装を外して、装束や道具の解説をしていきます。頭（かしら）や太鼓の重さを身近な物に例えて皆さんに実際の重量感をみて感じて体験して頂きます。

②飾山囃子（秋田県）

飾山という人形などを飾った山車の上で演じられてきた芸能で、娘たちがその山車の上で華やかに踊る秋田県の祭礼です。



③傘おどり（鳥取県）

昔、雨乞いの為に踊られたのが始まりとされるこの踊りは、鈴と色紙で飾った傘を廻しつつ、元唄“貝殻節”にのせて踊ります。



④ 銭太鼓（島根県）

竹の筒の中に古銭を入れて、両端にふさを付けた楽器を打ち振って文化文政の頃（1804～29）から盛んに唄われてきたと言われる“隠岐相撲取節”にのせてリズムカルに踊ります。



【ワークショップⅡ】

日本の楽器の音色をきいてみよう！
日本の伝統的な楽器を紹介します。
（三味線・太鼓・締め太鼓・笛・鉦）



⑤ 阿波踊り（徳島県）

日本三大盆踊りの一つで、築城の祝いに城主が、武士も町民も隔てなく踊らせたのが始まりとも言われています。様々に変化する演奏のリズムに合わせて手拍子で参加しながらおどりを見て頂きます。

【ワークショップⅢ】 おどってみよう！

代表学年の生徒さんによる「八木節」を共演します。
会場の全員で手拍子やかかけ声で参加してもらいます。



⑨ 八木節（群馬県）

提灯、すげ笠、花笠、唐傘等を扱いながら活気のある囃子と唄で明るく賑やかに踊ります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

ワークショップ時に日本のおどりのリズムなどを体感して頂き、全校児童生徒さんが本公演で手拍子参加できるようにします。代表の生徒さんと本公演終盤で踊る「八木節」を練習しますが、そこでは「手踊り」「菅笠踊り」「手拍子」のグループに分かれる時も、児童生徒さんの自主性を尊重し各自の判断に任せてグループ分け出来ることが理想的です。そして各グループで練習したものを合わせて一曲の構成が出来るようにして、当日皆さんに披露することで一つのを皆で楽しみながら協力して創り上げていく喜びを感じて頂きます。

本公演では、見て、聞いて、踊って沢山の事を感じて興味を持って頂けるよう曲目解説や楽器紹介などを合間々々に入れ、時には児童生徒さんへもその場で質問を投げかけながらテンポよく展開していきます。

児童生徒とのふれあい

曲目解説の中でボードを活用し、振りの表現の元となる自然や道具等の“見立て”等をクイズ形式にしたりして交流しながら児童生徒さんのおどり、そして民俗芸能への興味をふくらませていきます。

学校側のご意向があれば、終演後その場で児童生徒さんより感想を頂いたり、出演者への質問コーナーを設けて、より具体的な交流を図ります。

又、ご要望がありましたら、「八木節」を踊ってくれた代表学年の方たちと出演者で記念撮影を行います。（※撮影時、ソーシャルディスタンスで生徒さんと演者間に少し距離を保ちます。）